

■ 会員 Now

株式会社みずほコーポレート銀行と風力発電

ーより良い未来を作る金融であるためにー

ストラクチャードファイナンス営業部 齋藤 英之

Tel : 03-6734-5673

はじめに

弊部では、国内で実施される環境に配慮したさまざまなプロジェクトを金融のしくみでサポートさせて頂いておりますが、風力発電事業に着目したのは、我が国において風力発電が導入され始めた1999年にまで遡ります。

当初は、「風」そのものを研究することから始め、風が起こる仕組み、日本各地の気象状況、風力・風向はどのくらい安定性があるのかなどを約1年間かけて調査しました。その結果、風力は安定的なエネルギー源であるとの認識に至り、プロジェクトの収入（風力発電事業の場合は、売電収入）のみを返済原資とするプロジェクトファイナンスという金融手法を軸に活動を開始しました。その後、今日までの国内風力発電プロジェクトファイナンスアレンジ実績は10件、フィナンシャルアドバイザー実績も15件まで積みあがっております。

多彩なリスクを分析

プロジェクトファイナンスは、通常のコーポレートファイナンスと異なり、風力発電事業者様の信用リスクに依拠するのではなく、当該プロジェクトの事業性に基づく金融手法（通常は、当該プロジェクトのキャッシュフローのみが返済原資となるため、融資期間は長期間に及びます）であるため、風量変動リスク、自然災害等の要因を含めた風車の稼働率が低下するリスク、景観・騒音・用地・住民問題などで事業の継続に支障が出るリスクなど多彩なリスクを想定し、当該リスクに対する対策を検討する必要があります。

弊部では、風況データ、地理データ等を勘案のうえ、発電量のシミュレートを行い、そうした結果から長期の事業計画を風力発電事業者様とともに策定し、上記リスクへの対応策を勘案した上で、当該プロジェクトへの貸出可能額、金利等の条件の決定を行っております。

また、事業計画立案における金融調達手法やリスクに関するアドバイスなどを風力発電事業者様の立場にたって行う、ファイナンスのコ

ンサルティング業務も実施しております。

問題意識 ～モニタリングの重要性～

風力発電の導入期を過ぎ、長期間の運営が行われるまで発見し得なかったリスクの顕在化などにより、関係者のリスクを選別する目は厳しくなっております。

これは、これまでリスクを負担してきた者が当該リスクを負担できない、又は負担するには多大なコストが掛かることを意味し、プロジェクトの存続に影響を与えるものとなります。

プロジェクトファイナンスは長期間に亘り、安定的なキャッシュフローが堅持されることが前提となっておりますが、弊部では、風力発電事業者の方々とは異なる金融的な視点からプロジェクトのモニタリングを実施することにより、新たなリスクを早期に発見し、関係者の方々との協力のうえ当該リスクに対応することにより、継続的な事業運営のお手伝いをさせて頂いております。

今後の展開

わが国においても、再生可能エネルギーは順調な拡大を見せておりますが、風力発電事業は全量買取制度等の実現により、更なる拡大が見込める有望な市場と考えております。

弊部では、これまでに培った経験、取得したデータをもとに、風力発電分野におけるリーディングバンクとして、金融の側面から、より一層風力発電事業者の皆様方のお役に立てるよう、バリエーションに富んだファイナンス手法の確立に努めてまいります。

